

業務概要

- ・ 2001年春のユニバーサルスタジオジャパンの開業等により、人・物・情報の流れが大きく変化する大阪の重要な骨格である東西都市軸の安治川河口部について、現況把握、将来性把握、整備課題の整理、将来像の検討、地域再生のシナリオや推進の為に仕組みづくり等の検討を行った。又、多くのまちづくりへの地域シーズと共に、産業・港湾機能の再編、土地の遊休化・利用転換の動きがあり、魅力ある水際空間をもつ安治川左岸地域において、安治川インナーハーバーの再編による、まちづくりのための"安治川ランドデザイン『安治川リヴ・ゴーシュ構想』"を提案した。
- ・ 2002年度では、その"安治川ランドデザイン『安治川リヴ・ゴーシュ構想』"実現のために、地元街づくり意識や活動をより詳細に把握すると共に、地元活動の組織化のための社会実験等の具体的方策検討と地元活動の支援策の検討を行った。

検討内容

- ① 安治川内港とは『都市内インナーハーバーとしての開放的な水際域』である。
- ② 安治川内港地域のランドデザインの期待
- ③ コンセプトの提案：安治川ランドデザイン『安治川リヴ・ゴーシュ構想』
～People come first and Development after～によるソフト事業先行型の街づくり～
- ④ リヴ・ゴーシュ構想への誘導方策となる当面のプロジェクト案の提案
以上を踏まえて、地元のキーパーソンネットワーク形成と受け皿組織づくりへの展開を図ってゆくため、以下のようなことを行った。
- ⑤ 地域シーズ・地元の活動紹介の為に安治川紹介面白マップや安治川紹介サイトの企画検討。
- ⑥ 地元活動主体との意見交換会や街歩きワークショップの実施。



安治川界限まち歩きツアー ルートマップ



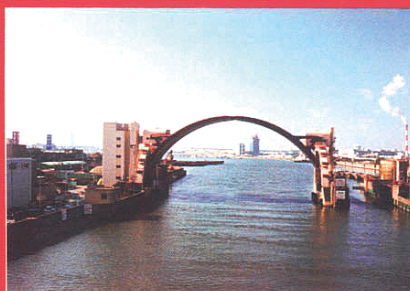
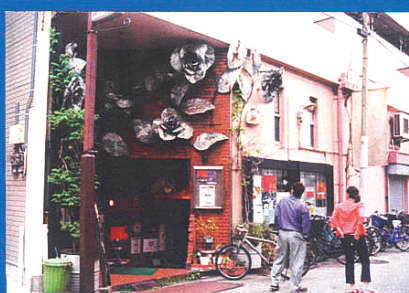
まち歩きツアー及び意見交換会スナップ

活動例 ～安治川紹介面白マップの検討～

トップページ案

安治川左岸・港まち浪漫

～アートとレトロと港の風に出会えるまち・安治川アートフロント～



大阪市西区九条あたりから西へ向かって歩けば、港区「波除」「弁天」「磯路」「夕凧」「港晴」・・・天保山運河を渡れば「築港」「海岸通」。港まちらしいロマンチックな町名が連なる安治川左岸界限。この地区には江戸時代から近代工業繁栄の時代に至る港まちの面影がそこに残されています。また、現在の「ものづくり」や「アート」そして、「いちびり」のエネルギーもあちこちに噴出しています。まちを歩けば、《大阪の歴史》《下町のエネルギー》《水辺のおおらかな風景》に出会えます。さあ、安治川界限見学ツアーに出かけましょう！